

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	3-2-1	施策名	学力・体力の向上	施策主管課	学校教育課
施策の目指す姿		児童生徒の学力・体力が向上しています			
■ 施策評価シート(平成29年度実績評価)について					
「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。 ・(前年度評価時の今後の方向性)の1つ目の②にある「家庭学習の重要性や部活動の適正化等の家庭や地域への働きかけ」について、その後どのような取組が行われたのかが不明であるため、(反映状況)に取組の内容を記載するべきである。 ・(反映状況)の2つ目について、「検定試験受験の補助を検討する」という方向性との整合性を考慮すれば、「検討の結果、補助事業の実施が決定し、事業開始後の周知を通じて、検定試験の受験率が高まった」ことが読み取れるように記載するべきである。 ・(反映状況)の3つ目について、平成29年度末時点の状況を記載するのであれば、「新たに」の語は削除するべきである。					
「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 (新たに取組むべき事業はないか)について、以下の2点を指摘する。 ・授業サポーターや中学校サポーター配置について、なぜ「継続はもちろんのこと、可能であれば増員も検討したい」のか、背景や理由が文面を読む限りでは不明であるため記載するべきである。 ・食生活や生活習慣の変化による肥満傾向の児童生徒の増加傾向を踏まえれば、体力向上の取組は、小中学校の連携だけではなく、幼稚園や保育園を含めた、幼保小中連携による取組も必要ではないか。					
「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか。 体力・運動能力調査の達成状況について、なぜこのような調査結果になったのか背景の分析が行われていないので記載するべきである。					
「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 ・(課題)の2つ目には、事業実践校指定の成果の総括を踏まえた、基礎体力向上のための課題を記載するべきである。 ・(今後の方向性)の2つ目には、事業実践校の新規指定が全市の基礎体力向上とどのようにつながるのか明記するべきである。					
●シート記載内容全般について 「このような結果になったのはなぜか(例:体力・運動能力調査の分析)」「この取組が必要なのはなぜか(例:授業サポーター・中学校サポーターの増員検討)」「この取組を行う意義は何か(例:実践校指定と全市的な基礎体力向上とのつながり)」を記載する際の背景や経緯の説明が、全体的に不十分である。					